

2010年2月9日  
東日本旅客鉄道株式会社

「地域再発見」プロジェクト推進中！

## ～ 地元発。とれたての感動！ 地元が提案する旅 「旅市」モニターツアー抽選会を実施しました～

JR東日本では、地元の人が考え、ご案内する新しい旅行商品「旅市(たびいち)」のモニターツアー参加者の募集を行いました。

1月22日から31日までの募集期間で、500名募集のところ約22,000件、40,000名以上の応募をいただきましたので、2月5日に厳正な抽選を行い、当選者500名が決定いたしました。

当選された皆さまには、2月12日以降、郵送にて当選通知をお送りいたします。

### 「旅市」モニターツアーの紹介

現在発売中の「旅市」商品の中からオススメする5コースを設定。(詳細は別紙による)

応募は専用のホームページ (<http://www.jreast.co.jp/tabiichi/mt/>) から申し込み。

- ・募集人数 500名(各コース定員100名) 申し込みは1名様ないし2名様
- ・募集期間 平成22年1月22日(金) 10:00～ 1月31日(日) 23:59
- ・募集方法 新聞掲載  
えきねっと会員向けメールマガジン配信
- ・旅行期間 平成22年2月26日(金)～3月14日(日) 出発 1泊2日 除外日あり
- ・旅行代金 東京・上野・大宮駅発着お一人様10,000円(おとな・子ども同額)

### 応募状況

応募件数：22,303件

応募人数：41,483名

【コース別内訳】

| コース                | 応募件数   | 応募人数   |
|--------------------|--------|--------|
| 青森県/弘前エリア          | 5,286  | 9,756  |
| 青森県/八戸エリア          | 5,461  | 9,997  |
| 宮城県/みやぎ蔵王・白石エリア    | 4,745  | 9,041  |
| 長野県/信濃大町・安曇野・松本エリア | 4,621  | 8,636  |
| 新潟県/越後湯沢エリア        | 2,190  | 4,053  |
| 小計                 | 22,303 | 41,483 |



### その他

当選されなかったお客さまにもEメールにてご連絡いたします。

「旅市」モニターツアー各コースのご案内

<共通のご案内>

いずれのコースも東京・上野・大宮駅から出発する往復の交通、宿泊、現地での体験・観光メニューが代金に含まれております（一部お客さまにご負担いただく場合がございます）。

【1】青森県/弘前コース『りんごの香りと心に響く津軽三味線を満喫』

藍染め体験、旅市ガイドとめぐる冬の弘前

岩木山に見守られた北国の城下町・弘前。りんごの甘い香り漂う選果風景を見学し、伝統の天然藍染めにチャレンジ。厳しい風土の中で育まれた本場の津軽三味線の演奏は津軽の景色とともに心に残る思い出になるはずです。

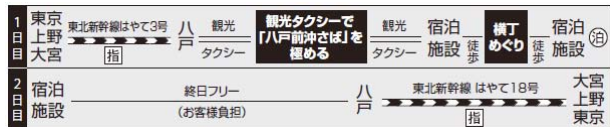


【2】青森県/八戸コース『活気あふれる港町・八戸 横丁の旨いものめぐり』

観光タクシーで「八戸前沖さば」を極める

毎日、新鮮な魚介類が水揚げされる東北有数の港町・八戸。なかでも脂ののった「八戸前沖サバ」は、地元の人たちが誇るブランド食材です。

また、レトロなネオンが郷愁を誘う「横丁めぐり」も八戸ならではの過ごし方。あたたかい人情に触れてください。



【3】宮城県/みやぎ蔵王・白石コース『城下町白石と宮城蔵王 ホットなふれあい』

こけしの里・遠刈田温泉でこけしの絵付け体験

白石では、伊達家の名参謀・片倉小十郎の足跡をたどり、職人の情熱と郷土愛が込められたヘルシーな「うー麺」をいただきます。

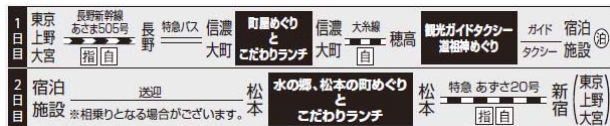
さらに、こけしの里で名を馳せる遠刈田温泉でこけしの絵付け体験とゆったり湯浴みを楽しみます。温泉情緒と義理人情に触れられる2日間の旅です。



【4】長野県/信濃大町・安曇野・松本コース『人々の生活を守り続けた北アルプスの湧き水と松本水めぐり』

水と道祖神めぐり

北アルプスの“水”の恵みをめぐる、とっておきの旅。水源の異なる男清水と女清水が味わえる信濃大町からスタートし、道祖神の微笑む安曇野を経て大町と並ぶ水の郷、城下町松本へ。地酒や蕎麦、漬け物、味噌などを生み出し信州の暮らしを支えてきた水を味わってください。



【5】新潟県/越後湯沢コース『川端康成の小説「雪國」の世界を訪ねて』

小説「雪國」ゆかりの地散策と「かすみの間」で執筆体験

「国境の長いトンネルを抜けると雪國であった…」ではじまる小説『雪國』、その舞台である越後湯沢では『雪國』が執筆された宿に宿泊します。

小説ゆかりの地散策と川端康成が執筆していた「かすみの間」で執筆体験。

越後湯沢の名湯と名作に触れる文学旅へどうぞ。

